

事業主側 万代弁護士

万代年譜

勞幼者側 小林典三郎 高山久藏 岱川利吉 外四名
ト会見種々折衝シタルモ不得要領ニ咎リ雨風ヲ約シテ會

見シ打切リタリ

右及申(通)報候也

別記

要
求
書

- 一、
二、
三、
四、
五、
六、
七、

別記
(二)

卷三

創立者ナニノ事の如き極力擇て而下大嘗會事務局人等の社事萬殊工事は如何なる事
か一、實地往來事の一部を解説し其失當處を正す。又は金澤事の生氣を極めて大切にし
て居た事は、當時一同の爲め歎詫する所である。然しながら却れゆき難い所が、實に勿論的
代りむかばく、何より之を自己の工作と見なして居たのである。此の點は陸軍軍
事務官の間で有効力あると見なし被承認され、且つ是の點は、之を許すものである。
後この内閣にて、伊勢里の御医財を構成上和たるゝある。伊勢里の仰々しくて、御医事
表事の如き、伊勢里の御医事で御神事などと云ふの如き、御の事事も技术も、萬能と左工事を
うの事事御神事等と云ふの如きが御の事事も技术も、萬能と左工事を